

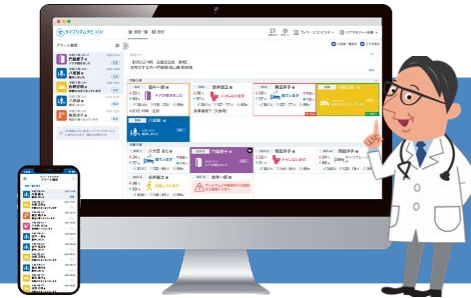
ライフリズムナビ + Dr. アラート設定方法解説セミナー (人感センサー編)

EcoNaviSta

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階
TEL:050-5526-3869

ライフリズムナビ + Dr.
Life Rhythm Navi Plus Doctor

専門医が考えたSaaS型高齢者見守りシステムで
介護・医療現場のお悩みを解決します。



はじめに

このセミナーは、ライフリズムナビVer2.0の画面で操作方法などをご紹介する内容となっております。

Ver1.0の方は、Ver2.0へアップデートすることで、機能をご利用いただけます。

Ver2.0へのアップデートご希望の方は、施設管理者様より弊社サポートまでご連絡ください。

ライフリズムナビ+Dr. Ver1.0

ライフリズムナビ.+Dr.
Life Rhythm Navigator Plus Doctor
produced by 東京 徳内・橋本クリニック
マイページ

ユーザーID(メールアドレス):
パスワード:
ログイン

Ver.1.13.21

【動作環境】
Windows (Windows10以降)
Google Chrome 最新版
Mozilla Firefox 最新版
Macintosh (macOS 10.12 Sierra以降)
Google Chrome 最新版
Safari 最新版
Mozilla Firefox 最新版
iOS10.0以降、Android7.0以降
Google Chrome
※OS標準ブラウザ

© 2015 EcoNavista Co.,Ltd.

ライフリズムナビ+Dr. Ver2.0

ライフリズムナビ.+Dr.
Life Rhythm Navigator Plus Doctor

ライフリズムナビ+Dr.にログイン

ユーザーID
パスワード
ログイン

[ログインできない方はこちら](#)

Ver.1.12.0

本セミナーの目的

1

人感センサーに関するアラートの**基本的な機能**を理解する

2

良いアラートの設定方法とは？を理解する

3

各種アラート通知の**活用方法**を持ち帰っていただく

本日の目次

01. 人感センサーの基本機能を理解する
02. 人感センサーに関する各種アラートについて
03. アラートの適切な設定方法を理解する
04. 人感センサーに関するアラートの活用事例
05. 質疑応答



01. 人感センサーの基本機能を理解する

取り付け状態について

寝室人感センサー



◆居室用人感センサーの取付位置
部屋の天井の中心付近に取り付け。

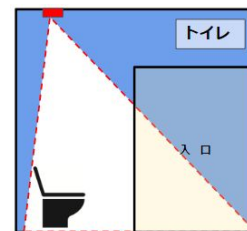
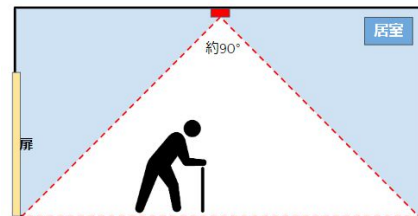
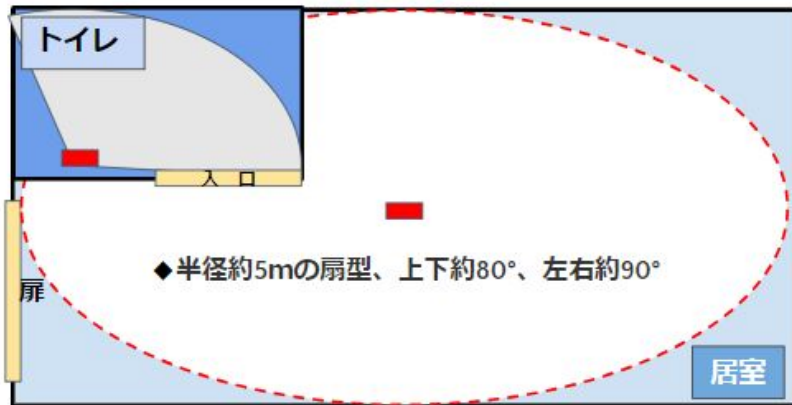
トイレ人感センサー



◆トイレ用人感センサーの取付位置
入口の外を人が歩いた時に
反応しない位置に取り付け。

01. 人感センサーの基本機能を理解する

検知の範囲について



Q

人感センサーは居室内のどの範囲まで検知をすることができますか？

↑

A

人感センサーの設置箇所を頂点として、2.5mの天井高で直径約5m程度の範囲を検知可能です。

01. 人感センサーの基本機能を理解する

検知の方法について

人感センサーが人を検知した場合、リアルタイムアイコンで表示します。

寝室:「活動しています」



トイレ:「トイレにいます」



Q 人感センサーは居室内の人の動きをどのように検知しているのでしょうか？

A 天井に設置されている人感センサーが、人の体温に起因する赤外線を検知し、人の動きとして判定しています。

01. 人感センサーの基本機能を理解する

リアルタイムアイコンの表示について

Q ベッドセンサーと人感センサーが同時に反応した場合、居室一覧画面ではどちらのアイコンが表示されますか？

A ベッドセンサーが反応している場合には、ベッドセンサーのアイコン表示（体動あり・寝ています）が優先して表示されます。



リアルタイム：ベッドセンサのアイコンが表示される



データの履歴：同時に検知したデータが記録される

01. 人感センサーの基本機能を理解する

人感センサーエラー時のトラブルシューティング①②

①ゲートウェイがエラー状態となっている



ゲートウェイが稼働していない場合、人感センサーもデータを受信することができなくなります。
以下を参考にトラブルシューティングをお試しください。

手順①

電源ケーブルの接続確認



- ・ゲートウェイ本体側の差込口
- ・壁コンセント側の差込口
- ・LANケーブルの差込口

手順②

ゲートウェイ再起動



- ・各種電源アダプタを抜く
- ・再度電源を接続する
- ・ゲートウェイ内LEDランプ確認

手順③

ケーブルの折れ/断線の確認



- ・ACアダプタの断線を確認
- ・コネクタ部の折れを確認
- ・正規品ACアダプタ使用の確認

01. 人感センサーの基本機能を理解する

人感センサーエラー時のトラブルシューティング①②

②ゲートウェイが人感センサーの電波を受信できていない

ゲートウェイと人感センサーの間に障害物がないかを確認

タンスや扉などの障害物があることで電波が拾いにくくなるケースがあります。

時間帯により、一時的に人感センサーがエラーとなる事象がみられた時には、ゲートウェイと人感センサー間の状況をご確認ください。

ゲートウェイと人感センサーが物理的に離れていないかを確認

ゲートウェイが他の居室へ移動していたり、部屋の隅にゲートウェイを設置して使用している場合、電波が弱まりエラーとなる場合があります。

ゲートウェイの設置状況をご確認ください。

電波受信 dongle が接続されているかを接続を確認

Dongle が抜けている、延長ケーブルが断線している可能性があります。

右図を参考にゲートウェイに正常に接続されているかをご確認ください。



EnOcean Dongle (赤枠) の接続を確認する

EnOcean Dongle を差し直した後、ゲートウェイの電源を再起動する

02. 人感センサーに関する各種アラートについて

アラート一覧



トイレにいます

トイレアラート

お知らせのタイミング

トイレに入った場合、お知らせします。

使用場面

トイレ使用時に介助が必要な場合などにご使用下さい。

※在床中はアラートによるお知らせを行いません。

喚りすぎ防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後5分間は同じお知らせを行いません。



動き出しました

動き出しアラート

お知らせのタイミング

居室内で動き出した際にお知らせします。

使用場面

動き出しの際に介助が必要な場合などにご使用ください。

喚りすぎ防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後5分間は同じお知らせを行いません。



長時間トイレから出てきていません

長時間トイレアラート

お知らせのタイミング

長時間トイレで動きが継続している場合、お知らせします。

使用場面

トイレ内で転倒していたり、お困りになられている可能性が考えられます。

転倒の心配がある、ご自身でナースコールを押せない方などにご使用ください。

喚りすぎ防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後1時間は同じお知らせを行いません。



活動が継続しています

活動継続アラート

お知らせのタイミング

居室内で活動が継続している場合にお知らせします。

使用場面

徘徊や居室内を物色してしまう方など、居室内の動きが気になる方へご使用ください。

喚りすぎ防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後1時間は同じお知らせを行いません。

02. 人感センサーに関する各種アラートについて

トイレアラート

対象センサ

トイレ人感センサ
(ベッドセンサ)

発報条件

- ・トイレ人感センサが反応した際に通知する
- ・前回のトイレ人感の反応から**3分以内**の場合には、連続してトイレにいた場合の反応とし、通知しない
- ・ベッドセンサがある場合には、ベッドステータスが不在の場合のみ発報する
(キャリブレーション/在床/睡眠では通知しない)

連続発生抑制

5分



トイレアラート

見守り時間：24時間 [閉じる](#)

見守り時間

24時間

時間を指定する



02. 人感センサーに関する各種アラートについて

長時間トイレアラート

対象センサ

トイレ人感センサ

発報条件

・トイレ人感センサの反応が「トイレ時間」継続した際に通知する

トイレ時間

初期値:20分

0~60分の範囲で設定可能

連続発生抑制

1時間

長時間トイレアラート
見守り時間: 24時間 トイレ時間: 20分 閉じる

見守り時間

24時間

時間を指定する

トイレ時間

20 分

- 0~60の半角整数で入力してください

02. 人感センサーに関する各種アラートについて

動き出しアラート

対象センサ

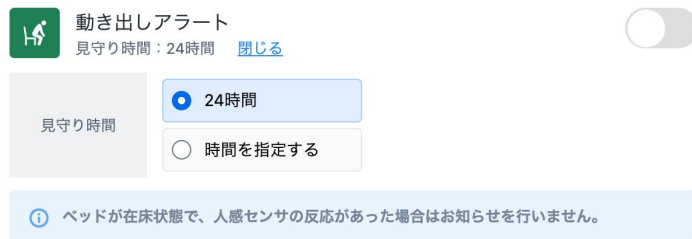
寝室／リビング／キッチン人感センサ
(ベッドセンサ)

発報条件

- ・寝室／リビング／キッチン人感センサが反応した際に通知する
- ・前回の人感センサーの反応から**3分以内**の場合には、連続して活動している場合の反応とし、通知しない
- ・ベッドセンサがある場合には、ベッドステータスが不在の場合のみ発報する
(キャリブレーション／在床／睡眠では通知しない)

連続発生抑制

5分



動き出しアラート
見守り時間：24時間 [閉じる](#)

見守り時間

24時間

時間を指定する

i ベッドが在床状態で、人感センサの反応があった場合はお知らせを行いません。

02. 人感センサーに関する各種アラートについて

活動継続アラート

対象センサ

寝室／リビング／キッチン人感センサ

発報条件

- ・寝室／リビング／キッチン人感センサの反応が「活動継続時間」継続した際に通知する

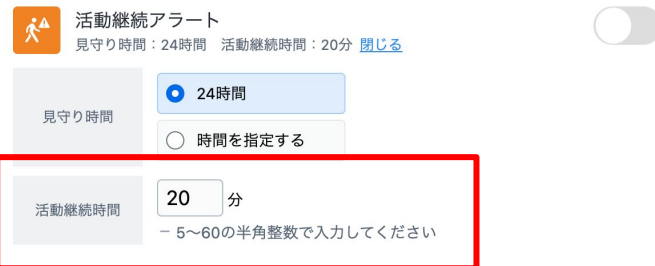
活動継続時間

初期値:20分

5～60分の範囲で設定可能

連続発生抑制

1時間



活動継続アラート

見守り時間：24時間 活動継続時間：20分 [閉じる](#)

24時間

見守り時間

時間を指定する

活動継続時間 分

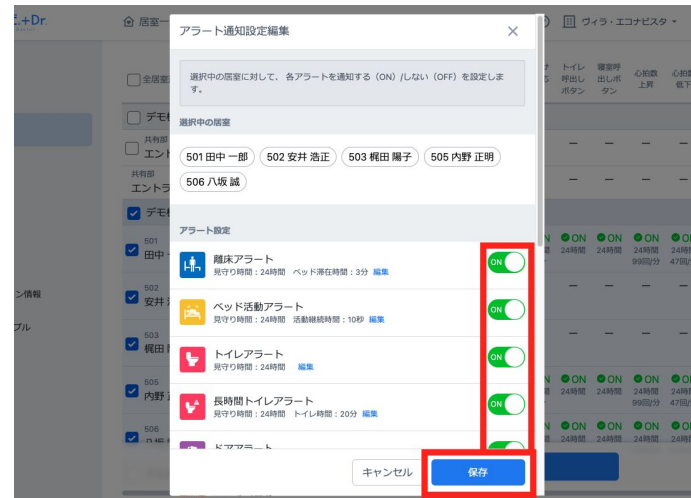
- 5～60の半角整数で入力してください

02. 人感センサーに関する各種アラートについて

アラートの通知設定を確認・変更する



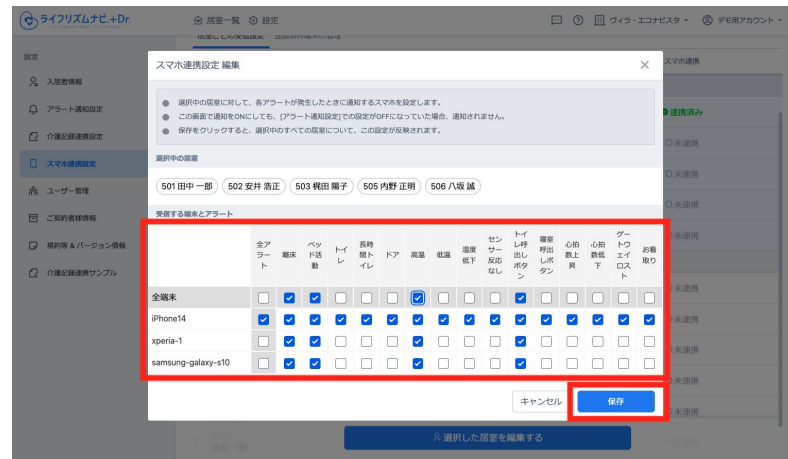
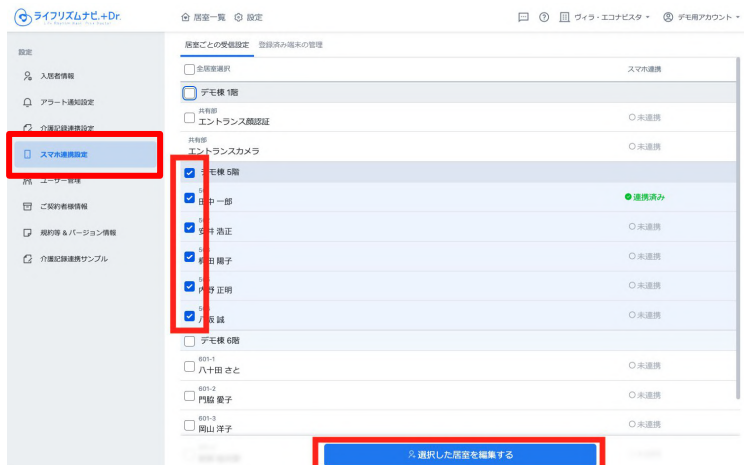
設定ページ>アラート通知設定 メニューをクリックします。
施設内の入居者一覧の中から、対象居室にチェックを入れ、「選択した居室を編集」をクリックします。



各アラートについて、ON/OFF(通知する/通知しない)を選択し保存をクリックします。

02. 人感センサーに関する各種アラートについて

アラートを通知するスマートフォン端末の確認・変更



施設内の入居者一覧の中から、対象居室にチェックを入れ、選択した居室を編集をクリックします。

各アラートについて、通知する端末名にチェックを入れます。
「保存」をクリックし、設定を保存します。

03. アラートの適切な設定方法を理解する

アラート活用での注意点

よくあるアラート設定の失敗例

①

アラートの基準を設けずに設定する

何かあると不安…
と多くのご入居者に設定
をする。



②

アラート通知を処理しきれなくなる

アラート未読がたくさん溜まっている状態になる。



③

業務の負担が増加する

アラート通知の対応に追われ、負担の増加に。



④

アラートがBGM化してしまう

通知が鳴っても対応をしなくなる。
画面を見なくなる。

この状態になっていたら要注意！



03. アラートの適切な設定方法を理解する

アラート活用での注意点

良いアラートの設定方法とは？

アラート通知設定が必要か検討する

なぜアラート通知を設定するのか？十分に検討した上でご入居者を選定して設定しましょう。

アラート通知が鳴った時の対応を明確にする

アラート通知を受け取っても、アクションを起こさなければただのBGMになってしまいます。解決したい課題に沿った対応方針を決め統一しましょう。

アラート通知設定を評価する

期待した効果が得られたか？必ず振り返りを行いましょう。不要であれば、通知設定はオフにするように定期的に見直すことが重要です。

ご入居者ごとにチューニングする

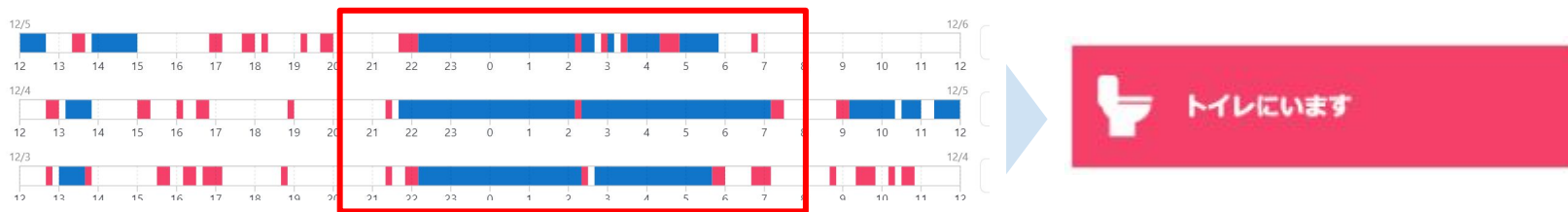
各種アラート通知には、発報条件を調整することができます。ご入居者のADLや、活用の目的に沿って調整しましょう。

04. 人感センサーに関するアラートの活用事例

① 新入居のご入居者の情報把握での活用

入居されたばかりのご入居者は、居室内での過ごし方や排泄等の状況などが不明なため、情報の収集が必要となるかと思います。

そこで、入居後1~2週間の間の情報収集としてトイレアラートなどを設定し、「夜間のトイレの回数」や「トイレの頻度」などを確認することで、必要なケアの検討に繋がります。

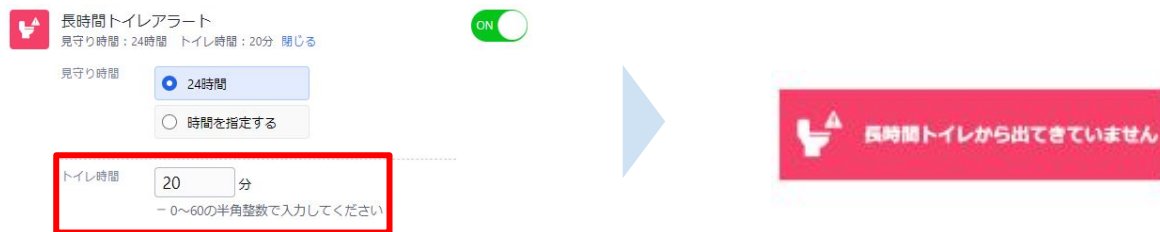


アラートを設定後には、検証期間を設け、その後の振り返りを行うことが重要です。居室の過ごし方を把握した上で、ケアが必要な場合にはご入居者の活動のリズムに合わせて、ケアを実施することで先回りのケアに繋がります。

04. 人感センサーに関するアラートの活用事例

②トイレ内でのトラブルが予想される方への活用

長時間トイレから出てこない時にお知らせをするアラートです。
昼夜問わずトイレに頻回で不眠傾向にある方で、夜間にトイレに座り込んで眠ってしまう方や、ご自身でトイレに行くことはできるがナースコールを押すことができない方の検知などにご活用頂けます。



ご入居者のADLや、検知したい状況に合わせて「トイレ時間」を調整することでより有効な活用に繋がります。

04. 人感センサーに関するアラートの活用事例

③ 転倒事故の再発防止での活用

転倒事故による下肢骨折の術後の状態だが、認知症の症状によって自立歩行が難しいことを自己認識することが難しく、再度転倒のリスクがあるご入居者へ「動き出しアラート」を設定した。



居室で過ごされている時に、車椅子から立ち上がることがあるため、アラート通知を活用し必要に応じての対応に繋がった事例です。

※多くのご入居者へ一括で設定をすると、通知が多くなりすぎることによって業務の負担増加に繋がる恐れがあります。必要な方を選定して設定することを推奨いたします。

04. 人感センサーに関するアラートの活用事例

④不穏状態の検知での活用

帰宅願望が表れると、着替えや荷物をまとめ始める傾向にあるご入居者へ「活動継続アラート」を設定。居室内で活動が活発になった状態を把握し、早めの対応で不穏状態に至らないように穏やかにお過ごし頂けるような対応を目的としていた。



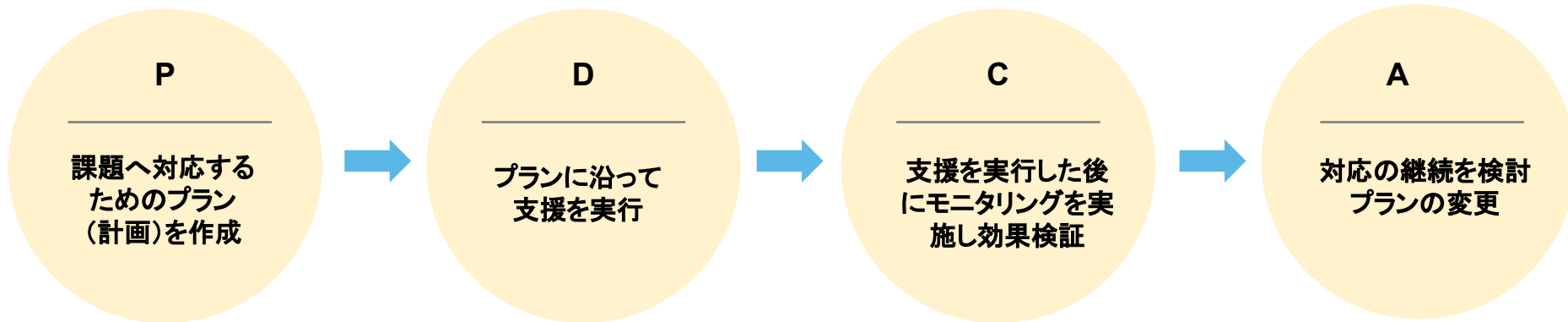
活動が継続しています

荷物をまとめる状態になってしまうと、状態をおさめるまでに時間を要していたが、通知から訪室し、気を紛らわせることができるようになった。

不安や孤独感、悲哀、焦燥などのネガティブな感情を察知し、落ち着いてもらうアプローチにつながった事例でした。

04. 人感センサーに関するアラートの活用事例

PDCAを回してアプローチを継続する



課題を解決するまでPDCAを回していく

05. 質疑応答



質問がある方は
お気軽にどうぞ！

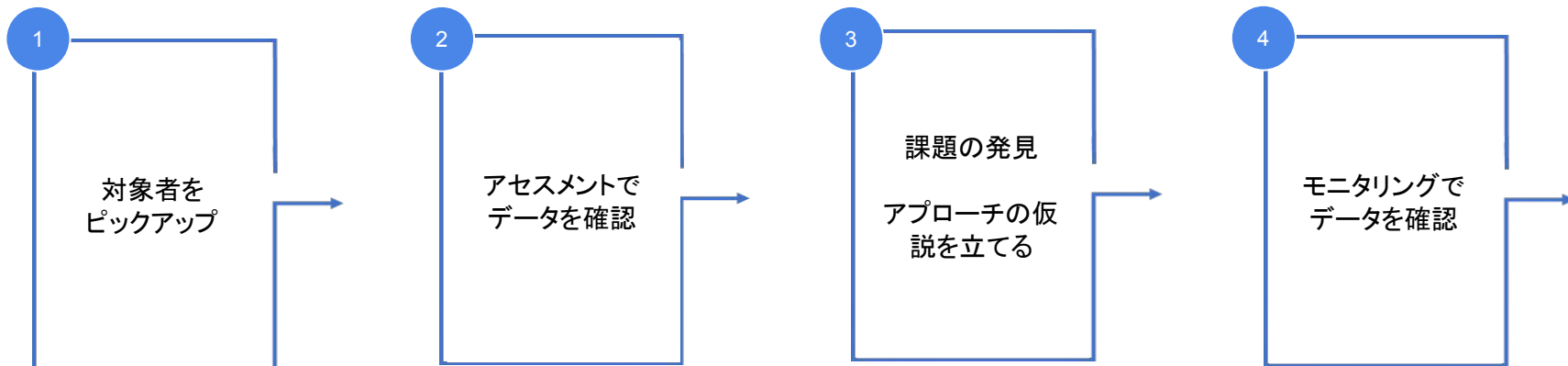
セミナー後に、アンケートを実施させていただきます。ご協力の程お願い致します。



おわりに

セミナー参加後のアクションプラン

まずは**アラートが必要な方を選定する**ことからスタート！



アラート通知機能は、画面を見ていなくても居室の状況をお知らせしてくれる便利な機能です。

ただ、適切に設定をしないと、むしろ業務の負担につながる恐れがあります。

検証期間を決め、定期的モニタリングを設けてアラート通知が本当に必要な方を選定することが大切です。

本日はご清聴ありがとうございました。

開発・運営：エコナビスタ株式会社

〒261-0023

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869